



2023年6月27日

各位

会社名 月島ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 川崎 淳
コード番号 6332(東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 経営企画部長
井川 学
電話 03-5560-6513

JFE エンジニアリング株式会社との国内水エンジニアリング事業の統合に際しての 吸収分割契約の締結に関するお知らせ

当社は、2022年12月5日付の「JFE エンジニアリング株式会社との水エンジニアリング事業の統合に関する合弁契約の締結に関するお知らせ」(以下「事業統合プレスリリース」といいます。)で公表しましたとおり、当社の水環境事業と JFE エンジニアリング株式会社(以下「JFE エンジニアリング」といいます。)の国内水エンジニアリング事業(以下に定義する。)の統合(以下「本事業統合」といいます。)に係る合弁契約書(以下「本最終契約」といいます。)を締結しました。

当社グループは、本最終契約に基づき、本事業統合のための一連の取引の一環として、下記①乃至④の吸収分割契約を締結いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。なお、本事業統合の詳細については、事業統合プレスリリースをご参照ください。

<https://pdf.irpocket.com/C6332/Pyu0/CJRw/rLSd.pdf>

- ① 2023年10月1日付で(以下「本効力発生日」といいます。)、JFE エンジニアリングを吸収分割会社、当社の完全子会社の月島アクアソリューション株式会社(本効力発生日付で商号を「月島 JFE アクアソリューション株式会社」に変更すること(以下「本商号変更①」といいます。)を予定しており、以下「本統合会社」といいます。)を吸収分割承継会社とし、JFE エンジニアリングのアクア事業部上下水プラント部、同事業部バイオマスプラント部及び同事業部運営部が扱う日本国内の水プラント事業(以下「国内水エンジニアリング事業」といいます。)を承継させることを目的とする吸収分割(以下「本吸収分割(JFE エンジニアリング)」といいます。)に係る吸収分割契約(以下「本吸収分割契約(JFE エンジニアリング)」といいます。)
- ② 本効力発生日付で、JFE 環境テクノロジー株式会社(以下「JFE 環境テクノロジー」といいます。)を吸収分割会社、本統合会社を吸収分割承継会社とし、JFE 環境テクノロジーのバイオマス利活用、汚泥再生処理事業のうち設計・調達・建設・修繕に関する部分(ただし、運転管理及び運転管理の範囲内における薬品等の調達に関する部分を除きます。)を承継させることを目的とする吸収分割(以下「本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))」といいます。)に係る吸収分割契約(以下「本吸収分割契約(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))」といいます。)
- ③ 本効力発生日付で、JFE 環境テクノロジーを吸収分割会社、当社の完全子会社で上下水道施設の運転管理事業を行っている月島テクノメンテサービス株式会社(本効力発生日付で商号を「月島ジェイテクノメンテサービス株式会社」に変更すること(以下「本商号変更②」といいます。)、本商号変更①と総称して「本商号変更」といいます。)を予定しており、以下「月島テクノメンテサービス」と

いいます。)を吸収分割承継会社とし、JFE 環境テクノロジーのバイオマス利活用、汚泥再生処理事業のうち運転管理及び運転管理の範囲内における薬品等の調達に関する部分を承継させることを目的とする吸収分割(以下「本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(運転管理))」)といひます。)に係る吸収分割契約(以下「本吸収分割契約(JFE 環境テクノロジー(運転管理))」)といひます。)

- ④ 本効力発生日付で、JFE 環境サービス株式会社(以下「JFE 環境サービス」といひます。)を吸収分割会社、月島テクノメンテサービスを吸収分割承継会社とし、JFE 環境サービスの上下水道施設、汚泥再生処理センター(し尿処理施設)及び浸出水処理施設の運転管理事業(ただし、ごみ焼却炉の運転管理事業に付随する事業は除きます。)を承継させることを目的とする吸収分割(以下「本吸収分割(JFE 環境サービス(運転管理))」)といひます。)に係る吸収分割契約(以下「本吸収分割契約(JFE 環境サービス(運転管理))」)といひます。)

なお、上記①乃至④の吸収分割(以下、総称して「本吸収分割」といひます。)の結果、JFE エンジニアリングは本統合会社の株式を 68 万株保有することとなり、本効力発生日時点での本統合会社の発行済株式総数は 170 万株(当社:102 万株、JFE エンジニアリング 68 万株)となります。

また、本吸収分割を含む本事業統合に関連する日程は、下表のとおりです(以下、下表に記載の日程を「本日程」といひます。)(注1)。

取締役会における本最終契約の締結の承認及び締結(当社)	2022 年 12 月 5 日
取締役会における本吸収分割契約(JFE エンジニアリング)と本吸収分割契約(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))の締結の承認及び締結(本統合会社)	2023 年 6 月 27 日
取締役会における本吸収分割契約(JFE 環境テクノロジー(運転管理))と本吸収分割契約(JFE 環境サービス(運転管理))の締結の承認及び締結(月島テクノメンテサービス)	2023 年 6 月 27 日
臨時株主総会における本吸収分割(JFE エンジニアリング)と本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))の承認(本統合会社)(注2)	2023 年 7 月 25 日(予定)
臨時株主総会における本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(運転管理))と本吸収分割(JFE 環境サービス(運転管理))の承認(月島テクノメンテサービス)	2023 年 7 月 25 日(予定)
本吸収分割及び本商号変更の効力発生	2023 年 10 月 1 日(予定)

(注1) 本吸収分割の本統合会社又は月島テクノメンテサービスでの臨時株主総会における承認は、事業統合プレスリリース時点においては 2023 年 4 月～6 月の実施を予定しておりましたが、現在は上表のとおりの実施を予定しております。

(注2) 事業統合プレスリリースにおいては 2023 年 4 月～6 月に本商号変更①に係る定款一部変更の承認を実施することが予定されておりましたが、現在検討中であり、詳細は必要に応じて適宜お知らせいたします。

1. 本吸収分割(JFE エンジニアリング)について

(1) 本吸収分割(JFE エンジニアリング)の目的

本吸収分割(JFE エンジニアリング)は、本事業統合のための一連の取引の一環として実施されるものです。詳細については、事業統合プレスリリースの「1.本事業統合の目的・概要」をご参照ください。

(2) 本吸収分割(JFE エンジニアリング)の日程

上記の本日程のとおりです。

(3) 本吸収分割(JFE エンジニアリング)の方式

JFE エンジニアリングを吸収分割会社、本統合会社を吸収分割承継会社とする吸収分割です。

(4) 本吸収分割(JFE エンジニアリング)に係る割当ての内容

本吸収分割(JFE エンジニアリング)に際し、本統合会社は、本統合会社の普通株式 622,400 株を新たに発行し、そのすべてを JFE エンジニアリングに対し割り当てます。

(5) 本吸収分割(JFE エンジニアリング)に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

(6) 本吸収分割(JFE エンジニアリング)により増減する資本金

本吸収分割(JFE エンジニアリング)に伴う JFE エンジニアリング及び本統合会社の資本金の額の増減はありません。

(7) 承継会社が承継する権利義務

JFE エンジニアリングの国内水エンジニアリング事業に関連する権利義務のうち、本吸収分割契約(JFE エンジニアリング)に定める権利義務を承継します。

(8) 債務履行の見込み

本統合会社は、本吸収分割(JFE エンジニアリング)後も資産の額が負債の額を上回ることが見込まれており、また、負担すべき債務の履行に支障を及ぼすような事態は現在のところ想定されておりません。従いまして、本吸収分割(JFE エンジニアリング)において、本統合会社が負担すべき債務については、債務履行の見込みに問題はないと判断しております。

2. 本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))について

(1) 本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))の目的

本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))は、本事業統合のための一連の取引の一環として実施されるものです。詳細については、事業統合プレスリリースの「1.本事業統合の目的・概要」をご参照ください。

(2) 本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))の日程

上記の本日程のとおりです。

- (3) 本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))の方式
JFE 環境テクノロジーを吸収分割会社、本統合会社を吸収分割承継会社とする吸収分割です。
- (4) 本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))に係る割当ての内容
本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))に際し、本統合会社は、本統合会社の普通株式 8,100 株を新たに発行し、そのすべてを JFE 環境テクノロジーに対し、割り当てます。JFE 環境テクノロジーは、本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))の効力が発生したことを条件に、本効力発生日に、当該普通株式のすべてを、剰余金の配当として JFE エンジニアリングに交付します。
- (5) 本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い
該当事項はありません。
- (6) 本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))により増減する資本金
本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))に伴う JFE 環境テクノロジー及び本統合会社の資本金の額の増減はありません。
- (7) 承継会社が承継する権利義務
JFE 環境テクノロジーのバイオマス利活用、汚泥再生処理事業のうち設計・調達・建設・修繕に関する部分(ただし、運転管理及び運転管理の範囲内における薬品等の調達に関する部分を除きます。)に関連する権利義務のうち、本吸収分割契約(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))に定める権利義務を承継します。
- (8) 債務履行の見込み
本統合会社は、本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))後も資産の額が負債の額を上回ることが見込まれており、また、負担すべき債務の履行に支障を及ぼすような事態は現在のところ想定されておりません。従いまして、本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))において、本統合会社が負担すべき債務については、債務履行の見込みに問題はないと判断しております。
3. 本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(運転管理))について
- (1) 本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(運転管理))の目的
本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(運転管理))は、本事業統合のための一連の取引の一環として実施されるものです。詳細については、事業統合プレスリリースの「1.本事業統合の目的・概要」をご参照ください。
- (2) 本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(運転管理))の日程
上記の本日程のとおりです。

- (3) 本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(運転管理))の方式
JFE 環境テクノロジーを吸収分割会社、月島テクノメンテサービスを吸収分割承継会社とする吸収分割です。
- (4) 本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(運転管理))に係る割当ての内容
本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(運転管理))に際し、月島テクノメンテサービスは、本統合会社から普通株式 500 株の発行を受け、そのすべてを JFE 環境テクノロジーに対し、割り当てます。JFE 環境テクノロジーは、本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(運転管理))の効力が発生したことを条件に、本効力発生日に、当該普通株式のすべてを、剰余金の配当として、JFE エンジニアリングに交付します。
- (5) 本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(運転管理))に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い
該当事項はありません。
- (6) 本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(運転管理))により増減する資本金
本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(運転管理))に伴う JFE 環境テクノロジー及び月島テクノメンテサービスの資本金の額の増減はありません。
- (7) 承継会社が承継する権利義務
JFE 環境テクノロジーのバイオマス利活用、汚泥再生処理事業のうち運転管理及び運転管理の範囲内における薬品等の調達に関する部分に関連する権利義務のうち、本吸収分割契約(JFE 環境テクノロジー(運転管理))に定める権利義務を承継します。
- (8) 債務履行の見込み
月島テクノメンテサービスは、本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(運転管理))後も資産の額が負債の額を上回ることが見込まれており、また、負担すべき債務の履行に支障を及ぼすような事態は現在のところ想定されておりません。従いまして、本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(運転管理))において、月島テクノメンテサービスが負担すべき債務については、債務履行の見込みに問題はないと判断しております。
4. 本吸収分割(JFE 環境サービス(運転管理))について
- (1) 本吸収分割(JFE 環境サービス(運転管理))の目的
本吸収分割(JFE 環境サービス(運転管理))は、本事業統合のための一連の取引の一環として実施されるものです。詳細については、事業統合プレスリリースの「1.本事業統合の目的・概要」をご参照ください。
- (2) 本吸収分割(JFE 環境サービス(運転管理))の日程
上記の本日程のとおりです。

(3) 本吸収分割(JFE 環境サービス(運転管理))の方式

JFE 環境サービスを吸収分割会社、月島テクノメンテサービスを吸収分割承継会社とする吸収分割です。

(4) 本吸収分割(JFE 環境サービス(運転管理))に係る割当ての内容

本吸収分割(JFE 環境サービス(運転管理))に際し、月島テクノメンテサービスは、本統合会社から普通株式 49,000 株の発行を受け、そのすべてを JFE 環境サービスに対し、割り当てます。JFE 環境サービスは、本吸収分割(JFE 環境サービス(運転管理))の効力が発生したことを条件に、本効力発生日に、当該普通株式のすべてを、剰余金の配当として、JFE エンジニアリングに交付します。

(5) 本吸収分割(JFE 環境サービス(運転管理))に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

(6) 本吸収分割(JFE 環境サービス(運転管理))により増減する資本金

本吸収分割(JFE 環境サービス(運転管理))に伴う JFE 環境サービス及び月島テクノメンテサービスの資本金の額の増減はありません。

(7) 承継会社が承継する権利義務

JFE 環境サービスの上下水道施設、汚泥再生処理センター(し尿処理施設)及び浸出水処理施設の運転管理事業(ただし、ごみ焼却炉の運転管理事業に付随する事業は除きます。)に関連する権利義務のうち、本吸収分割契約(JFE 環境サービス(運転管理))に定める権利義務を承継します。

(8) 債務履行の見込み

月島テクノメンテサービスは、本吸収分割(JFE 環境サービス(運転管理))後も資産の額が負債の額を上回ることが見込まれており、また、負担すべき債務の履行に支障を及ぼすような事態は現在のところ想定されておりません。従いまして、本吸収分割(JFE 環境サービス(運転管理))において、月島テクノメンテサービスが負担すべき債務については、債務履行の見込みに問題はないと判断しております。

5. 本事業統合に係る割当ての内容の算定の考え方

(1) 本吸収分割(JFE エンジニアリング)

本統合会社と JFE エンジニアリングは、本吸収分割(JFE エンジニアリング)により承継する資産及び負債の状況に加えて、承継対象となる国内水エンジニアリング事業に係る収益の状況、財務の状況、将来の見通し等の要因を総合的に勘案し、慎重に交渉・協議した上で、上記「1. 本吸収分割(JFE エンジニアリング)について」の「(4) 本吸収分割(JFE エンジニアリング)に係る割当ての内容」に記載の割当株式数が妥当であるとの判断に至り、当該割当株式数により本吸収分割(JFE エンジニアリング)を行うことを合意し、決定いたしました。

(2) 本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))

本統合会社とJFE 環境テクノロジーは、本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))により承継する資産及び負債の状況に加えて、承継対象となるバイオマス利活用、汚泥再生処理事業のうち設計・調達・建設・修繕に関する部分(ただし、運転管理及び運転管理の範囲内における薬品等の調達に関する部分を除きます。)に係る収益の状況、財務の状況、将来の見通し等の要因を総合的に勘案し、慎重に交渉・協議した上で、上記「2. 本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))について」の「(4) 本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))に係る割当ての内容」に記載の割当株式数が妥当であるとの判断に至り、当該割当株式数により本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))を行うことを合意し、決定いたしました。

(3) 本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(運転管理))

月島テクノメンテサービスとJFE 環境テクノロジーは、本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(運転管理))により承継する資産及び負債の状況に加えて、承継対象となるバイオマス利活用、汚泥再生処理事業のうち運転管理及び運転管理の範囲内における薬品等の調達に関する部分に係る収益の状況、財務の状況、将来の見通し等の要因を総合的に勘案し、慎重に交渉・協議した上で、上記「3. 本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(運転管理))について」の「(4) 本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(運転管理))に係る割当ての内容」に記載の割当株式数が妥当であるとの判断に至り、当該割当株式数により本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(運転管理))を行うことを合意し、決定いたしました。

(4) 本吸収分割(JFE 環境サービス(運転管理))

月島テクノメンテサービスとJFE 環境サービスは、本吸収分割(JFE 環境サービス(運転管理))により承継する資産及び負債の状況に加えて、承継対象となる上下水道施設、汚泥再生処理センター(し尿処理施設)及び浸出水処理施設の運転管理事業(ただし、ごみ焼却炉の運転管理事業に付随する事業は除きます。)に係る収益の状況、財務の状況、将来の見通し等の要因を総合的に勘案し、慎重に交渉・協議した上で、上記「4. 本吸収分割(JFE 環境サービス(運転管理))について」の「(4) 本吸収分割(JFE 環境サービス(運転管理))に係る割当ての内容」に記載の割当株式数が妥当であるとの判断に至り、当該割当株式数により本吸収分割(JFE 環境サービス(運転管理))を行うことを合意し、決定いたしました。

6. 当事会社の概要

(1) 本吸収分割契約(JFE エンジニアリング)

①JFE エンジニアリング(2023年3月31日現在)

(1) 商号	JFE エンジニアリング株式会社
(2) 所在地	東京都千代田区内幸町二丁目2番3号
(3) 代表者役職・氏名	代表取締役社長 大下 元
(4) 事業内容	環境プラント、水処理プラント、エネルギープラント、橋梁等の EPC 並びに納入プラントのメンテナンス・運営事業
(5) 資本金	10,000 百万円
(6) 設立年月日	平成 15 (2003)年4月1日

(7) 発行済株式数	55,730,000 株
(8) 決算期	3月末日
(9) 大株主及び持株比率	JFE ホールディングス株式会社 100%
(10) 直前事業年度の財政状態及び経営成績	
純資産	127,138 百万円
総資産	328,148 百万円
1株あたり純資産	2,281.32 円
売上高	300,564 百万円
営業利益	7,006 百万円
経常利益	2,903 百万円
当期純利益	627 百万円
1株あたり当期純利益	11.26 円

②本統合会社(2023年3月31日現在)

(1) 商号	月島水エンジニアリング分割準備株式会社(注1)
(2) 所在地	東京都中央区晴海三丁目5番1号
(3) 代表者役職・氏名	代表取締役 細川 展宏
(4) 事業内容	上下水道、バイオマス分野等におけるプラント・機器の設計、建設、製造、販売及び施設の運転管理
(5) 資本金	100 百万円
(6) 設立年月日	令和4(2022)年4月1日
(7) 発行済株式数	40,000 株
(8) 決算期	3月末日
(9) 大株主及び持株比率	月島機械株式会社(注2)100%
(10) 直前事業年度の財政状態及び経営成績	
純資産	166 百万円
総資産	166 百万円
1株あたり純資産	4,158.21 円
売上高	一百万円
営業利益	△44 百万円
経常利益	△44 百万円
当期純利益	△33 百万円
1株あたり当期純利益	△841.78 円

(注1)2023年4月1日からの商号は月島アクアソリューション株式会社

(注2)2023年4月1日からの商号は月島ホールディングス株式会社

(2) 本吸収分割契約(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))

①JFE 環境テクノロジー(2023年3月31日現在)

(1) 商号	JFE 環境テクノロジー株式会社
(2) 所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬2丁目6番地1
(3) 代表者役職・氏名	代表取締役社長 崎山 芳行
(4) 事業内容	・廃棄物処理施設、上下水処理施設等環境保全施設の 運転管理、修理並びに保守管理 ・上記施設に関連するエンジニアリング業務及び 建設工事の請負 ・土木建築工事の設計、施工及び監理
(5) 資本金	450 百万円
(6) 設立年月日	昭和 60(1985)年 10 月 16 日
(7) 発行済株式数	7,107 株
(8) 決算期	3月末日
(9) 大株主及び持株比率	JFE エンジニアリング株式会社 100%
(10) 直前事業年度の財政状態及び経営成績	
純資産	5,546 百万円
総資産	14,346 百万円
1株あたり純資産	780,382.49 円
売上高	20,812 百万円
営業利益	1,647 百万円
経常利益	1,793 百万円
当期純利益	1,270 百万円
1株あたり当期純利益	178,734 円

②本統合会社

上記「6. 当事会社の概要」の「(1)本吸収分割契約(JFE エンジニアリング)」の「②本統合会社(2023年3月31日)」をご参照ください。

(3) 本吸収分割契約(JFE 環境テクノロジー(運転管理))

①JFE 環境テクノロジー

上記「6. 当事会社の概要」の「(2)本吸収分割契約(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))」の「①JFE 環境テクノロジー(2023年3月31日)」をご参照ください。

②月島テクノメンテサービス(2023年3月31日現在)

(1) 商号	月島テクノメンテサービス株式会社
(2) 所在地	東京都江東区佐賀一丁目3番7号
(3) 代表者役職・氏名	代表取締役社長 伊藤 道夫
(4) 事業内容	上下水道施設の維持管理・補修

(5) 資本金	180 百万円
(6) 設立年月日	昭和 46(1971)年4月 30 日
(7) 発行済株式数	280,000 株
(8) 決算期	3月末日
(9) 大株主及び持株比率	月島機械株式会社(注)100%
(10) 直前事業年度の財政状態及び経営成績	
純資産	7,861 百万円
総資産	18,248 百万円
1株あたり純資産	28,077.12 円
売上高	26,879 百万円
営業利益	2,631 百万円
経常利益	2,662 百万円
当期純利益	1,984 百万円
1株あたり当期純利益	7,086.22 円

(注)2023 年4月 1 日からの商号は月島ホールディングス株式会社

(4) 本吸収分割契約(JFE 環境サービス(運転管理))

①JFE 環境サービス(2023 年3月 31 日現在)

(1) 商号	JFE 環境サービス株式会社
(2) 所在地	神奈川県横浜市鶴見区弁天町3番地
(3) 代表者役職・氏名	代表取締役社長 保延 和義
(4) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理施設、水処理施設、機械プラント等及びその付帯設備の運転並びに維持管理 ・廃棄物等の熔融固化物に関するリサイクル事業 ・廃棄物等の処理及び再生利用に関する事業並びにその再生品の販売 ・廃棄物処理施設、水処理施設、機械プラント等及びその付帯設備の企画、設計、製造、販売、修理並びにこれらに関する工事請負 ・労働者派遣事業
(5) 資本金	9,750 万円
(6) 設立年月日	昭和 55(1980)年9月2日
(7) 発行済株式数	74,600 株
(8) 決算期	3月末日
(9) 大株主及び持株比率	JFE エンジニアリング株式会社 100%
(10) 直前事業年度の財政状態及び経営成績	
純資産	2,596 百万円
総資産	6,783 百万円

1株あたり純資産	34,807.91 円
売上高	23,054 百万円
営業利益	2,117 百万円
経常利益	2,119 百万円
当期純利益	1,360 百万円
1株あたり当期純利益	18,242.80 円

②月島テクノメンテサービス

上記「6. 当事会社の概要」の「(3)本吸収分割契約(JFE 環境テクノロジー(運転管理))」の「②月島テクノメンテサービス(2023年3月31日)」をご参照ください。

7. 分割する事業の概要

(1) 分割する部門の事業内容

①本吸収分割(JFE エンジニアリング)

国内水エンジニアリング事業

②本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))

バイオマス利活用、汚泥再生処理事業のうち設計・調達・建設・修繕に関する部分(ただし、運転管理及び運転管理の範囲内における薬品等の調達に関する部分を除きます。)

③本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(運転管理))

バイオマス利活用、汚泥再生処理事業のうち運転管理及び運転管理の範囲内における薬品等の調達に関する部分

④本吸収分割(JFE 環境サービス(運転管理))

上下水道施設、汚泥再生処理センター(し尿処理施設)及び浸出水処理施設の運転管理事業(ただし、ごみ焼却炉の運転管理事業に付随する事業は除きます。)

(2) 分割する部門の経営成績

① 本吸収分割(JFE エンジニアリング)

売上高 18,714 百万円(2023年3月期)

② 本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))

売上高 4,973 百万円(2023年3月期)

③ 本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(運転管理))

売上高 983 百万円(2023年3月期)

- ④ 本吸収分割(JFE 環境サービス(運転管理))
売上高 3,469 百万円(2023 年3月期)

(3) 分割する資産、負債の項目及び帳簿価格

① 本吸収分割(JFE エンジニアリング)(2023 年3月末時点)

資産		負債	
流動資産	11,150 百万円	流動負債	5,716 百万円
固定資産	1,364 百万円	固定負債	0百万円
合計	12,514 百万円	合計	5,716 百万円

② 本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(設計・調達・建設・修繕))(2023 年3月末時点)

資産		負債	
流動資産	2,618 百万円	流動負債	780 百万円
固定資産	21 百万円	固定負債	0百万円
合計	2,639 百万円	合計	780 百万円

③ 本吸収分割(JFE 環境テクノロジー(運転管理))(2023 年3月末時点)

資産		負債	
流動資産	150 百万円	流動負債	255 百万円
固定資産	0百万円	固定負債	0百万円
合計	150 百万円	合計	255 百万円

④ 本吸収分割(JFE 環境サービス(運転管理))(2023 年3月末時点)

資産		負債	
流動資産	491 百万円	流動負債	415 百万円
固定資産	50 百万円	固定負債	15 百万円
合計	541 百万円	合計	430 百万円

(注) 上記①乃至④において、承継する資産及び負債の金額は、2023年3月末時点の帳簿価額に基づく見込み額であり、実際に承継する金額は上記から変動する可能性があります。

8. 分割後の承継会社の状況

(1) 本統合会社

(1) 商号	月島 JFE アクアソリューション株式会社
(2) 所在地	東京都中央区晴海三丁目5番1号
(3) 代表者役職・氏名	代表取締役社長 鷹取 啓太
(4) 事業内容	上下水道施設・機器の設計・調達・建設、製造、販売 バイオマス利活用施設、汚泥再生処理施設の設計・調達・建設・修繕
(5) 資本金	5,000 百万円

(6) 決算期	3月末日
---------	------

(2) 月島テクノメンテサービス

(1) 商号	月島ジェイテクノメンテサービス株式会社
(2) 所在地	東京都江東区佐賀一丁目3番7号
(3) 代表者役職・氏名	代表取締役社長 伊藤 道夫
(4) 事業内容	上下水道施設の運転管理・補修 バイオマス利活用施設、汚泥再生処理施設の運転管理
(5) 資本金	180 百万円
(6) 決算期	3月末日

9. 会計処理の概要

本吸収分割は、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第 21 号 2019 年 1 月 16 日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第 10 号 2019 年 1 月 16 日)における「取得」に該当するものとして処理しており、当社の連結財務諸表上、現行の会計基準では正ののれんが発生する見込みですが、現時点ではのれんの金額は確定しておりません。

10. 今後の見通し

本統合会社は、本吸収分割の実現により水エンジニアリング関連技術及びサービス・事業の知見を補完・融合し、拡大する PPP/PFI 事業等への対応力を高めることでさらなる成長と企業価値向上を追求していきたいと考えております。

なお、本事業統合が当社の 2024 年 3 月期の連結業績に与える影響については、2023 年 5 月 12 日付 2023 年 3 月期決算短信に開示しました 2024 年 3 月期の連結業績予想に織り込んでおります。

以 上